

ON-PAM 文化政策委員会 第1回委員会議事録

日時	2013年6月4日(火) 18時～21時	会場	森下スタジオ(東京)
委員総数	31名	出席総数	18名(出席委員数: 委任者数:なし)
参加者数	54名(委員18名、その他の委員30名、その他ゲスト等6名)		
議長	伊藤達哉	記録	川口聡
配布資料	「2013年度の活動について」、「2013年度 ON-PAM 文化政策委員会 収支予算(案)」		
審議事項	活動テーマの共有、活動予定について、予算について、文化政策の理念とは		
作成者	川口聡		

議事録内容

運営について 18:00-18:30

- 活動テーマの共有. 政策提言に繋げるための共通認識の形成..
- 活動予定について:
 - * 第2回ラボは8月. アーツカウンシルについて. (中村さん)
 - * 第3回ラボは11月. F/Tとの提携. (武田さん)
 - * 2月に報告会を開催。
- 予算について:
 - * 各ラボ(6月、8月、11月に開催)に7万円ずつ配分。
 - * 最終的なアーカイブにも予算を配分..
 - * 4月の運営案だった「運営委員会」と「実行委員会」、実行委員会というのはナシ..
 - * 副委員長は中村茜、武田知也の2名。会計は武田知也..

第1回文化政策委員会「文化政策ラボ Vol.1」 18:30-21:00

鈴木忠志さんとのディスカッション テーマ:「文化政策の理念とは」 ゲスト:鈴木忠志氏

- (質問)野村政之:利賀でどういうことを考えてこられたのか?
- (質問)相馬千秋:場をつくる。システムを作る。劇場をつくる。どういうモチベーションで実現されてきたのか?
- (質問)伊藤達哉:新しいシステムを作りたい。10年先、20年先のビジョンを考えたい。
文化政策を具体的に提言する先は、どこか?
- 《会場からの質問》(質問)どうして利賀村だったのか?
- (質問)相馬千秋:アジアの国々との関係性を今、どう考えればいいのか?

以上